



出勤前、 たった1分でできる 健康観察

目に見えないウイルスという敵と戦う日々。

見えない分、自分の状態をしっかりと把握することが重要です。

健康観察CHATは日々の健康状態を記録・管理し、様々なシーンでの“安心”を提供します。

500団体 3200グループ

約20万人が使用中

自治体・介護事業所・民間企業・学校・スポーツイベント運営など
長崎県クルーズ船でのコロナ対応で活用
全国保健所（90施設）で濃厚接触者の健康管理
検疫所軽症者の健康 管理
国立感染症研究所でも採用

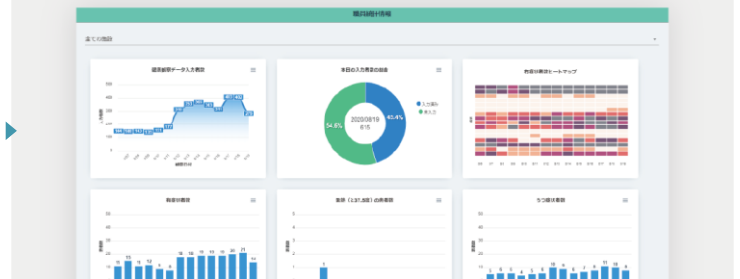
健康観察CHATの使い方



各自のスマホを使って、チャット形式で簡単に入力

新型コロナウイルス対策に実際にご尽力されている感染症専門医監修のもと、厳選した観察項目のみ入力。慣れたら約1分で入力完了！

管理者



可視化されたグラフを元に組織全体を把握・管理

入力された健康観察情報は、すべてデータで一元管理⇒グラフ化。組織全体を把握して異変に気付くことが、クラスター早期検知につながる。

監修：福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座 山藤栄一郎教授

利用シーン



企業

接客や訪問作業など、従業員が安心して働くために

お客様訪問がある接客クルーやどうしても出社せざるを得ない職場でも、安心して働けることを目指します。



教育現場・研究機関

生徒/学生が交流する中でも素早く状況を把握するために

クラス単位で子どもの健康を把握することで教室はもちろん放課後・部活動での感染経路を素早く捉え、早期対応を叶えます。



スポーツ

アスリートが安心してパフォーマンスするために

参加者全員の試合までの状況を把握し、感染の可能性が低いことを確認。余計な心配なく思いきり試合に臨める環境を整えます。



病院・介護施設

院内感染・高齢者の重症化ハイリスクを事前に防ぐために

ウイルス感染でのリスクが大きい病院・介護施設において、医療・介護従事者の院内感染や高齢者施設における重症化予防を目指します。



健康観察CHAT 動画一覧

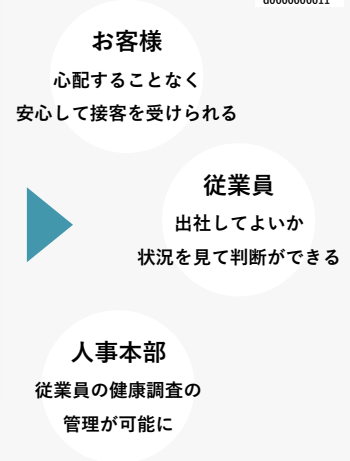
QRコードを読み取っていただくことで、健康観察CHATの操作説明動画と感染症専門医である山藤栄一郎先生による、健康観察CHATの解説動画をご覧いただけます。

POINT 01 健康状態を入力⇒従業員の情報を集約

出社時にはチャットによる健康情報の入力を行うことで、お客様への安心感に繋げることができます。



入力画面参考動画
入力デモ動画
▼団体番号：
d000000011



※発熱・咳・咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢などの症状がでた場合、①発症後少なくとも8日間経過、②薬剤の服用なしで症状がない状態が3日間経過、の2つの条件を満たすまで、出社をしないよう促す等

POINT 02 管理画面で従業員の健康情報をリアルタイムで確認

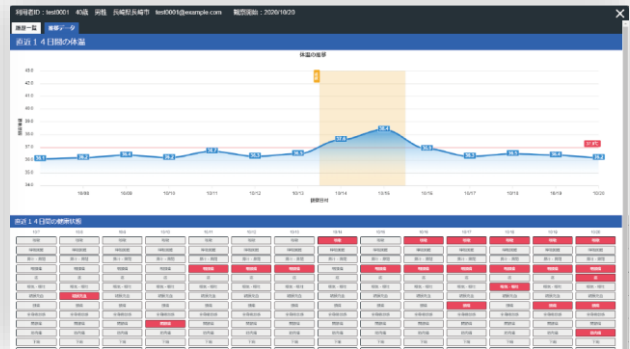
統計管理機能、一覧確認機能、履歴推移機能、コメント一覧、CSVダウンロード等、有症状者の状態を確認しやすくする機能をご提供



管理画面デモ動画



▲統計画面：管理単位ごとの統計情報を一目で把握。クラスター早期検知につながる



▲履歴推移：有症状推移モニタリングを行うことで、コロナに限らず集団感染検知に有効

POINT 03

個人情報保持せず、利用者IDで管理



団体番号（11桁）

例）事業所番号(10桁)+ユニット番号



利用者ID

例）従業員番号など各団体毎に一意となる番号

2次元バーコードで読み取りも可能

2回目以降のアクセス時には、端末番号を記憶できていれば初期表示される

POINT 04

クラウドベースで提供、即時利用が可能

テンプレートを準備済みのため、お申し込みから1週間で利用可能

体温をはじめとした
20項目を用意



- 観察日
- 時間帯
- 体温
- 咳嗽
- 呼吸困難
- 鼻汁・鼻閉
- 咽頭痛
- 嘔気・嘔吐
- 結膜充血
- 頭痛
- 全身倦怠感
- 関節筋肉痛
- 下痢
- 意識障害
- けいれん
- 味覚
- 嗅覚
- 抑うつ
- 興味の低下
- その他気になること

お問い合わせ先

富士通株式会社 デジタルタッチポイント事業部
新型コロナウイルス感染症対策支援チーム
fj-HC_expandSupport@dl.jp.fujitsu.com

症候群サーベイランス

健康観察 CHAT

利益相反について：山藤栄一郎先生や全国の感染症専門医の先生のご意見を成長させていますが、専門家の先生と富士通の間で、金銭の授受はございません。